

シカク月報

シカク月報 第100号

2013/07 #07

こんにちはシカクです！今回で7号目になるシカク月報、かねてからの宣言通り紙面をリニューアル&ボリューム2倍の大幅進化を遂げました。やっぱり我々も太古から続く自然の一部ですからね。常に進化を怠ってはいけません。店舗の方もトイレ修理に伴う大幅リニューアルで、以前のシカクを知っている人からは「店っぽくなった」という驚きの声があがっています(前までは何っぽかったかという、外とか倉庫とか幼稚園のプールとかです)。さてそんなシカクでは7月もイベント目白押し！まずは最近「裏サンデー投稿トーナメント」でも特殊な作風で話題を呼んだ漫画家小林銅蟲の初個展

「狂°ふれあい物産展」

（キョウト フレイブッッサンテン）
それからせっかくトイレが直ったからシカクでも何かイベントをやりたい！って、**シカクのミニコミ寄席** というミニコミ紹介イベントを7月20日にやってこれからも時々開催しようと思ってます。今回のテーマは「夏に読みたいミニコミ」！うーん、安易！でも1回目だからね。1回目からトバしすぎると、ただでさえ後ろ指差されがちなシカクが指どころか弓矢とか刺されちゃうからね。まあ最初はこんなもんです。もうすぐ移転して一年ということもあって、いろいろと変化を続けるシカク。夏は暑くて本とか読む気起きないとか言わずにどうぞよろしく！！



★おとぼけフレンズのくわしいせつめいは、シカクのホームページでみれるよ。

告知の園

シカクで開催されるイベントや 出張店舗で参加するイベントのお知らせです。

小林銅蟲 狂°ふれあい物産展



7月27日(土)～8月26日(月)

初日 20時からオープニングパーティー
参加費 2000円、フリー肉&ソフトドリンク

シカクでも1周年記念イベント「天才の祭典」の出演などおなじみ！「ねぎ姉さん」「ラスボス刑事」などの作者の特殊漫画家・小林銅蟲の初個展を1ヶ月開催します！関西未発表の貴重な原画や描き下ろしイラスト、あとなんかいろいろ！
展示特設サイトでは、1200話以上ある「ねぎ姉さん」の中から好きなコマを選んで缶バッジを作れる特別企画を開催中！
漫画界の最先端アウトサイダー、知ってる人も知らない人も大挙してね！！

【展示特設サイト】
<http://uguilab.com/exhibition/201308/>

第一回 シカクのミニコミ寄席



7月20日(土)20時～

【おかね】500円+チューペットつき
【テーマ】夏に読みたいミニコミ
【ごはん】夏に食べたいトメちゃん居酒屋

トイレが直ったシカクをお届けする定期イベント第1弾！
シカクで販売しているミニコミを中心に、訳あって販売できていないもの、もう発行が終了しているものなど、いろんなミニコミやインディーズ作品をプロジェクトで映しながら紹介したりわいわい言ったりするよ。
今回のテーマは「夏に読みたいミニコミ」！

【ご予約・お問合わせ先】 shikaku@uguilab.com または 080(4010)6203 まで

最近見聞きした物事について

米子匡司

意図せずとも目撃せざるをえない、という点から、ストリートに置かれている物や行われる事に興味を持っています。路面販売とか、ストリートライブとか、自動販売機とか。不特定多数の人に何かを投げかけるために場所やお店を構えるのってなかなか大変で、お店は人の興味を惹かないといけないし、僕みたいな人見知りな勇気を出して一歩入らないといけないし。先日、名古屋に行ったついでに伏見の地下商店街で見た『新・方法』というグループの展示は、地下商店街の壁面にある広告スペースに写真2点と説明書を展示したもので、落札証明書をオークションに出品する、という自己完結的な行為の顛末についての物語でした。物語の内容自体には特筆するような面白い点はなかったんだけど、地下街に貼り出された、メンバーたちと落札代金を納めた金庫の写真は、ちょっとした謎や企みを滲ませていて、地下街の広告スペースにはちょうど良かった。何気なく誰かが目撃して、誰が目撃したのかもよくわからないささやかな展示だけど、その通路にはちょうど良いぐらいの感じでした。

しかくい本とCDのけなし



月刊シミュレーション 第4号 400円
月刊シミュレーション編集室

「自分が死んだらどうなるだろう」ということは、誰でも一度は考えたことがあると思う。私はそれなりに楽しい毎日を過ごしてるし、死んだら悲しんでくれそうな人もいるのでなるべく死にたくないなあとは思ってるけど、幽霊の存在をけっこう信じてたりするので、「死んで幽霊になったら世界一周旅行するんだ」とかおめでたいことを考えてたりもする。一方周りの人たちを見ると、お金がなかったり人生が辛かったりして「死にたい」「消えたい」と言ってる人も多い。あんまり多いので、世の中の大半の人は消えたい願望が強くて自分が特殊なんじゃないかと思ってる。

そんな疑惑が気のせいだとわかる本「月刊シミュレーション」には、12人の男女に聞いた「明日消えるなら？」というテーマのインタビューが載っている。「お世話になった人にお礼を言う」「大切な人といつも通り過ごす」みたいな飛ぶ鳥後を濁さずの行動をとる人もいれば、「人を殺したい」「富士山の上でセックスしたい」という死ぬんだから何やってもいいじゃん的なマインドを持っている人もいるけど、大半の人はやっぱり消えるのは嫌みたいだ。よかった。
ちなみに私がもし明日消えるなら…と考えてみたけど、まあ普通に家で家族と猫と過ごして、お寿司とか食べてお世話になった各位に手紙を書く、くらいしか思い浮かばなかった。その代わり葬儀はいろいろやってほしいことがある。普通にお坊さんがお経を読む感じのやつは嫌だ。イベント形式にしてライブとかやってほしい。あと、わんにゃん王国的な場所に行ったことがないのが心残りだから、動物をいっぱい集めてアニマルパラダイスにしてほしい。お墓は石じゃなくてモニターにして、ボタンを押すとお香をあげれたり私からのメッセージが流れるやつにしてほしい。病気が何かで余命宣告されたら、準備のほうよろしくお願いします。

カモン! ご近所さん!

大阪市内でも指折りのディープスポットとして密かに注目を集める中津。その中でも飛び抜けたキテレツぶり、D.S.ポモニアの間では鉄板的存在になっているのが「ピエロハーバー」です。
ここは基本的にかフェバー、時々演劇や大道芸などのイベント、フリマなどの催しが行われています。どうも複数の団体が運

営しているようなんですが、その正体は謎のベールに包まれています。
何がそんなにディープなのかというと、まず見た目スゴい。画像検索したらすぐ出てくるんですが、サーカス小屋のようなカラフルな看板に巨大なチャップリンの壁画。薄暗く店の少ない阪急中津の高架下において、一目で「ヤバイ」と思わせる抜群の存在感を出しています。
かなり異様で入りづらいオーラを放っていますが、勇気を出して一歩中に踏み込んでみると、まず中の広さに仰天。めちゃくちゃ広いです。ライブハウスと言うと BIG



CAT ぐらいあります(たぶん)。300人ぐらいの人が入れます。
席に座ってメニューを開くと、「ピエロ井」「赤提灯セット」「中津六丁目カレー」など、まったく中身のイメージがつかないメニューがズラリ。「たこやきパーラー」など挑戦的な名前もちらほら混ざっています。
注文してから届くまでにちょっと時間がかかりますが、店内にはジェンガや黒ひげ危機一髪、オセロ、卓球台などのパーティーアイテムが大量にあるので、時間つぶすにはピッタリです。
そして届いた料理のお味は…普通。でも、

ベコタン焼きというオリジナルメニューらしい人が入れます。
はたまにごはんを置き間違えるので、注意が必要です。
ピエロハーバーはおいしいB級フードを味わうというよりも、異様な空間と店員さんの独特のテンション(町の中華屋さんみたいなノリ)を楽しむお店って感じ。あと、ここにも看板猫が2匹あります。ちゃーとらんと白黒のフチ。たいへんにカワイイので、猫が好きならぜひ探して追いかけてほしいと思います。



シカク

6月のべすとせら〜

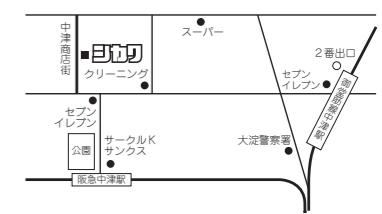
- 1 小林銅蟲ランド①
- 2 イシヤマアズサ「学生スケッチ」
- 3 ナマエミョウジ「名作集 2010～2012」
- 4 ムライ+シカク「なかつのろじのとりこ」
- 5 漫画の手帖 NO.65
- 6 ムライ短編集 路地裏第一区
- 7 HOSOME「IN THE CITY / 1997」
- 8 鷹林ケイ「にじり寄って来るなあ、夜が。」
- 9 DJ Yudetaro 「P.K.」
- 10 さもまん 聖サモハン女子家政大学漫画作法研究会

(シカク発行の本とシカクで当月展示をした作家の作品をのぞいたランキングです)

シカクで本・CD・作品を売りたい人募集

シカクでは「一般の店にないテーマや思想を扱った本」「一般受けはしないが非凡なもの」「唯一無二で判断に困るもの」などを中心に、委託販売する作品を常時募集しています。取扱アイテムは本・CD・DVD・ゲームなどがメインです。ジャンル・内容・言語などは一切問いません。
グッズ類は基本的に受け付けていませんが、見たことないぐらい頭がおかしい面白い感じのものだったら是非見せてほしいです。
納品の前に簡単に審査をするので、作品の全部または一部(データでも OK)をお送りいただくか、店頭までお持ちください。売れるかとか上手下手ではなく、本気度や作った目的などを見る感じです。
委託の条件などはホームページ(シカクで検索すると出てくるよ)をご覧ください。店頭や電話で直接お尋ねください。

シカク月報 2013/07 第7号
発行:シカク
住所:大阪市北区中津3-17-12
中津商店街の真ん中らへん
時間:午後2時～8時ごろまで(火水定休日)
電話:080-4010-6203(トモエ)
メール: shikaku@uguilab.com
HP: <http://uguilab.com/shikakutop.html>



ライブ情報

"YMFMS"

2013.7.13(sat) at 油野美術館

open 18:00 start 18:30 ¥1500[with 1drink]

出演者:

ぬぬぬ(ルイ・リロイ・田中と巴トメ夫のユニット)/

遥かなる私 / 宮西淳 / sann waax kawabata /

シカクの店長だよ!

広告主募集!

シカク月報を毎月楽しみにしており、かつ宣伝したいことがある方には
広告出稿がおすすめ。1000 円で上の「ライブ情報」サイズの広告
(45mm×100mm)、2000 円でさらに倍の広告が出せます。もらった広告
費はシカク月報の印刷代や郵送料、よみもの寄稿者の原稿料などに活用
されます。

興味のある方は shikaku@uguilab.com までご連絡ください。

定期購読受付中!

シカク月報を毎月欠かさず読みたい... PDF じゃ物足りない...そんな通好
みのアナタにおすすめなのが定期購読。1500 円で1年間月報を毎月お送
りします。部数は5部まで申込可。お申し込みは shikaku@uguilab.com まで、
件名を「定期購読申込み」にして、お名前・ご住所・希望部数を記入の上
お送りください。

※当初掲載を予定しておりました、水内義人の連載
「どすこい喫茶マウンテンの乳山茂は俺の父」は
作者都合により次回からの連載開始とさせていただきます。



ノルウェーの森っています

WHAT IS THIS THING CALLED POLITICS

～政治ってなんでしよう?～

しらきたかね

嗚呼、オレもみんなみたいに上からなんだかんだと説教したり、時事ネタ
をバンバン斬りたいわ、ネットで。と思っている方がいたら一つ言わせてい
ただく。止めた方がいいよ。でも、社会問題に関心があるのは善いことだし、
そういったことを勉強することは現代の市民として必須だと思う。そこで、
よし、オレもいっちょやってみるか!と思われた方はぜひこの後も読み進め
ていただきたい。なぜならば、本欄で私は政治について一から考え、論じて
いくつもりだからだ。

この連載での目標はこうだ。まずは政治の原理的な部分について論じてい
きたい。さらには具体例をとりあげて考察していく。そして、最後に新たな
より良い政治の在り方を提案できればここでの私の役目は終わりだ。

ということで、今回は政治って何なの?ということについて論じたい。政
治と聞くとみなさんは何を思い浮かべられるだろうか。選挙、汚職、国会な
んかをイメージされる方もいるだろう。でも、まつりごとをおさめる、なん
て頓珍漢なことを言うのは止めて欲しいなあ。法案をつくること、なんて風
に答える人もいるかも。なかなかいい答えだ。しかし、私が考える政治とい
うのは、何かを決めることという意味だ。そう、なんだかんだいって政治な
んてそもそもごくシンプルな概念なのだ。ただ、定義としてももう少し完成さ
せると、その社会のみんなが決めたことに従わなくちゃいけない、っていう
ことも付け加えておこう。ということで今回は、じゃあ、その決め方ってど
うすんのよ?という話しについて述べたい。

頑張っても駄目なときは駄目

人間はどうして生まれてきたのか。そんなことを常に考えている
人はとても生きづらいでしょうし、他人ごとながら大変だなーと同
情しますが、僕にもわからないのでどうしようもありません。生き
続け、考え続けるしかない問題なので諦めてください。人生なんて
そんなもんだもん。

愛し合うために生まれてきた人は
愛し合ったら死んでください

六条くるる

執筆者紹介

みんな日頃から何かしらの活動をして
いる人ばかりなので、気になった人は
チェックしてみてね。



ナマエミョウジ

主に1コマ、2コマ、4コマで漫画ギャグをやっています。漫画さんの懐の深さに感
謝しつつ、今後も好き勝手やらせていただく所存です。

ナマエミョウジ: <http://namemanganamae.tumblr.com>

しらきたかね

天満でたこ焼き屋を営む。また、無類のジャズ好きが高じて、新進気鋭の音楽ライ
ターとしても多方面で活動している。関西ジャズ無料情報誌「WAY OUT WEST」で
トラッド・ジャズに関するコラムを絶賛連載中。座右の銘は創造と啓蒙。

六条くるる

最近、生き方までもおしゃれになってきた脳みそおしゃれ系男子。お金をくれる人
を募集しています。

巴トメ夫

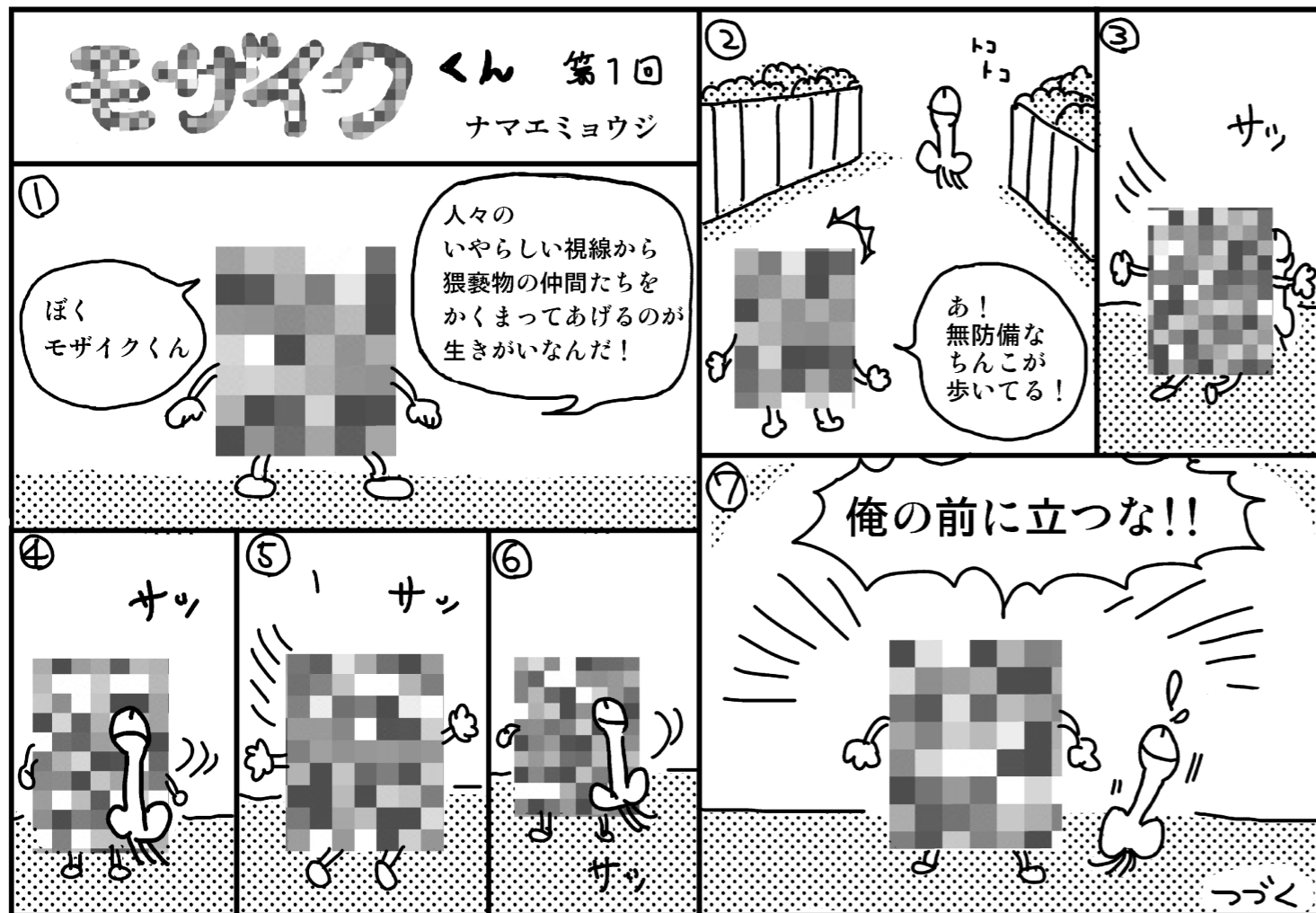
シカクのシンボル。元は sax として色々なバンドをやっていたけど
今はほとんど休止中。最近DJ機材を買いましたがジャンクで使えなかった。やっ
ぱりオークションはだめだな。ひさしぶりに「ぬぬぬ」というユニットでライブをす
るよ。詳しくはこの号の広告欄をみてね。今や珍しいトメ夫の sax だよ!

たけしげみゆき

シカクの書籍担当・副店主。漫画を描いたり、生きていくためにデザインの仕事を
したりもしている。最近ではシャビィのレモンのやつに夢中。

米子匡司

音楽家、SjQ/SjQ++ での活動のほか、1人でのライブ・展示などしています。自動販
売機も作ります。ウェブサイトと紙の雑誌「余所見」でも似たような事を書いてま
す。<http://yosomi.jp/>



ギリ!ギリ!大喜利!!

「ギリ!ギリ!大喜利!!」のコーナーでは、毎月お題を
発表しギリギリな攻めてる回答を募集します。

掲載された回答には巴トメ夫が独断と偏見でポイント付与!
そのうち殿堂入りを決めるので、殿堂入りになれば何か豪華
特典プレゼント!

(shikaku@uguilab.com) に件名を「大喜利回答」として、
ペンネームと回答を書いてメールを送って下さい。毎月20
日〆切りです。みなさんのご応募お待ちしております!

次回のお題

「夏真っ盛り!
ビーチで男女がやることといえぼ?」